令和７年度主任相談支援専門員養成研修　事前課題

【地域援助の具体的展開】

地域生活支援拠点等については、第７期障害福祉計画の成果目標として、令和８年度末までの目標が、「地域生活支援の充実・各市町村において地域生活支援拠点等を整備するとともに、コーディネーターの配置などによる効果的な支援体制及び緊急時の連絡体制の構築を進め、また、年１回以上、支援の実績等を踏まえ運営状況の検証・検討を行うこと」とされている。

　受講生の活動する市町村の、「整備後の課題やその解決に向けた取り組み」（整備されていない場合は「整備に向けた取り組みの状況」や「課題となっていること」）について、下記項目も参考のうえ、記載してください。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　受講番号：　　　　　　　　　　　氏名：

１　地域生活支援拠点等について、地域全体で（基本理念や達成目標と課題を共有しているか？）その目的を共有している。

２　地域生活支援拠点等における現状と課題（について、下記の点に留意して記載してください）を整理している。

　　（１）地域のストレングスの整理（含　インフォーマルな資源・住民のネットワーク）

（２）個別支援を通した地域課題の整理・障害児者のニーズ整理

　　（３）機能別整理

　　　　①相談機能　②緊急時の受け入れ・対応の機能　③体験の機会・場の機能

　　　　④専門的人材の確保・養成の機能　⓹地域の体制づくりの機能

　　（４）関係者のヒアリングによる整理

　　（５）協議会を活用した議論の整理

　　（６）運営方針や数値目標の整理

３　地域生活支援拠点等において、各機関が重層的、相補的な連携体制を（どのように）構築しているか。その現状と課題は？

４　地域生活支援拠点等を推進するため、協議会に専門部会やプロジェクトチームを組織しているか。その現用と課題は？

５　地域生活支援拠点等（の整備）を推進するうえで、行政や関係機関の組織責任者のリーダーシップ（に関する現状と課題は？）がある。

６　地域生活支援拠点等（の整備）を推進するための計画（達成目標、戦略、スケジュール等）（に関する現状と課題は）がある。

７　地域生活拠点等の検証方法（とその課題について）がある。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１０月８日（水）＜研修２日目＞に、２部ご持参ください。